

注3

大学番号：私268

[平成29年度設置]

計画の区分：学部学科の設置

注1

届出

中村学園大学 栄養科学部 フード・マネジメント学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人中村学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画室

職名・氏名 経営企画部部長・大石^{オオイシ} 勇治^{ユウジ}

電話番号 092-851-2594

（夜間） 092-851-2589

F A X 092-841-7762

e-mail stg@nakamura-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

栄養科学部学部

＜フード・マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人中村学園

(2) 大 学 名

中村学園大学

(3) 大学の位置

〒814-0198

福岡県福岡市城南区別府5-7-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナカムラ リョウイチ) 中村 量一 (平成5年9月)		
学 長	(カイ サトシ) 甲斐 諭 (平成23年11月)		
学 部 長	(ナカノ シュウジ) 中野 修治 (平成27年4月)		
学科長等	(オオタ ヒデアキ) 太田 英明 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
栄養科学部 フード・マネジメント学科 学士(栄養科学)	家政関係	4 年	100 人	10 3年次 人	420 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	100 人 () []	人 () []	1.26 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	418 (-) [1]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	417 (-) [1]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	251 (-) [1]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	126 (-) [0]	() []		
入学定員超過率 B/A							1.26			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	126 [-]	- [-]	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- [-]	- [-]	
3 年次			/		[] ()	[] ()	- [-]	- [-]	
4 年次					/		- [-]	- [-]	
計							126 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	126人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00 %
合 計	126人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜栄養科学部 フード・マネジメント学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置							備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
	中村学	1・3前		2								兼21	担当コマ調整により、担当者変更(29)
	哲学	1・3前・後		2								兼1	
	倫理学	1・3前		2								兼1	
	日本文学	1・3前・後		2								兼2	他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(29)
	外国文学	1・3後		2								兼1	
	神話の世界	1・3後前		2								兼1	
	心理学	1・3前・後		2								兼2	他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(29)
	メンタルヘルス論	1・3前		2								兼1	
	現代社会と教育	1・3前→後		2								兼1	
	リーダーシップ論	1・3前		2								兼1	受講者分散のため、開講期を追加し、担当者を追加(29)
	国際文化論	1前後・3後		2								兼42	
	音楽の世界	1・3前		2								兼1	
	アートワールド	1・3後		2								兼1	他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(29)
	宗教学	1・3前		2								兼1	
	スポーツ文化	1・3後前		2								兼1	
	食の博多学	1・3後		2		1							受講者分散のため、開講期を追加し、担当者を追加(29)
	法学	1・3前		2								兼1	
	社会学	1・3後		2								兼1	
	現代社会と政治	1・3後		2									受講者分散のため、開講期を追加し、担当者を追加(29)
	経済学	1前後・3前		2		1						兼1	
	アジアの経済	1前後・3後		2		1						兼1	
	九州経済事情	1前後・3前		2		1							受講者分散のため、開講期を追加し、担当者を追加(29)
	経営学	1・3前		2								兼1	
	金融リテラシー	1・3前		2								兼1	
	知的財産論	1・3後		2									受講者分散のため、開講期を追加(29) 授業内容を考慮して、担当者を追加(29)
	マスコミ論	1・3前		2								兼1	
	歴史学	1・3前		2								兼1	
	博多学	1・3後		2									受講者分散のため、開講期を追加(29) 野中 昭彦准教授就任辞退のため担当者の変更(29)
	ジェンダー論	1・3前		2								兼1	
	日本国憲法	1後		2								兼1	
	社会福祉とボランティア	1・3前・後		2									受講者分散のため、開講期を追加(29) 授業内容を考慮して、担当者を追加(29)
	アジア食文化事情	1前後・3後		2								兼36	
	国際食文化概論	1・3前		2		1							
	コミュニケーション論	1前後・3前		2				1	1				受講者分散のため、開講期を追加(29) 野中 昭彦准教授就任辞退のため担当者の変更(29)
	野外活動体験	1・3前		2								兼24 集中	
	生涯スポーツ論・実習Ⅰ	1前		1								兼1	
	生涯スポーツ論・実習Ⅱ	1後		1								兼1	
自然 科学 教科	数学の魅力考え方	1・3前・後		2								兼2	より適切な科目名にするため、「数学の魅力」を「数学の考え方」に変更(29)
	統計学入門	1・3後		2								兼1	
	情報科学	1・3前・後		2								兼1	
	環境論	1・3前後		2								兼1	他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(29)
	化学	1・3後前		2								兼1	
	食の科学	1前後・3前		2		1						兼4	
	生物学	1・3後前		2								兼1	他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(29)
	地学	1・3前		2								兼1	

2 授業科目の概要

＜栄養科学部 フード・マネジメント学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
教 養 科 目 教 育	自然科学教科	体の科学	1・3前		2								兼1	
		色彩の科学	1・3前		2			1						
		生物有機化学	1前		2								兼1	
		基礎生物学	1前		2								兼1	
		演習基礎化学	1前		2								兼1	
		情報処理演習Ⅰ	1前		1								兼1	
		情報処理演習Ⅱ	1後		1								兼2	
	外国語教科	総合基礎英語	1前		1								兼2	兼任講師の都合により、担当者変更(29) 担当コマ調整により、担当者変更(29)

2 授業科目の概要

<栄養科学部 フード・マネジメント学科>

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考			
				必	修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
専門教育	専門 応用 教科	フードコーディネート論	3前	2			1								他科目との関連性を考慮し、開講年次を変更(29)	
		食品衛生学実験	2後	1					1							
		食品機能学実験	3前		1		1									
		官能評価・鑑別演習	3後	2			1									
		食品加工学実習	4後	1			1									
	応用 食品 ビジ ネス 科目	経営分析論	3前		2		1								野中 昭彦准教授就任辞退のため担当者の変更(29) [担当 吉村 美路(講師)]	
		食産業学	2前		2		1									
		外食産業論	2後		2			1								
		フードマネジメント論	2前		2			1								
		フードマーケティング論	3後		2		1									
		オペレーション戦略	4前		2								兼1			
		組織行動とリーダーシップ	3前		2			1	1							
		人的資源管理	4前		2								兼1			
		フードファシリティマネジメント	4後		2								兼1			
	専門 発展 教科	フ ィ ー ド フ ィ ー ク 研 修	食品工場見学	2前		1			1						集中	
			国内食文化研修	1前		2			1						集中	
			海外食文化研修	4前		2		1							集中	
			食品ビジネスインターンシップ	3前		2			1						集中	
		発 展 科 目	食品開発論	3前		2		1								兼1
			食品表示の実務	3後		1				1						
			食品企業経営戦略論	2・4前		2				1						
			食品ビジネス戦略論	1・3前		2		1								
			6次産業化論	3後		2		1								
			ストラテジック・マネジメント	4前		2										
			食の機能性評価学	4後		2		1								
		マ ネ ジ メ ン ト ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 修	プレゼンテーション	1後		2			1	1					野中 昭彦准教授就任辞退のため担当者 の変更(29) [担当 吉村 美路(講師)]	
			対人コミュニケーション	2前		2			1	1						
			異文化間コミュニケーション	2後		2			1	1						
			論理的作文能力	1前		2			1	1						
			マネジメント・コミュニケーションⅠ	3前		2			1	1						
			マネジメント・コミュニケーションⅡ	3後		2			1	1						
		卒業 研究	卒業研究	4通	4			5	2 1	1 2					野中 昭彦准教授就任辞退のため担当者の変更(29) [担当 吉村 美路(講師)]	

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計 (A)	必 修	選 択	自 由	計	
31科目	106科目	0科目	137科目	31科目	106科目	0科目	137科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	食品加工学	2	1前	専門	必修	食品化学を修得した後に履修させるため、開講年次を変更。平成30年度前学期開講予定
2	食品加工学実習	1	1後	専門	必修	食品加工学を修得した後に履修させるため、開講年次を変更。平成30年度後学期開講予定

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	調理理論Ⅱ	2	1	専門	必修	調理の実践を教授するため、科目名及び授業形態を変更し「調理学実習」として開講

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

■大学の所見 ・未開講科目について 基礎食品学科目及び応用食品学科目の関連性を考慮し、学生が基礎・応用の順番でよりスムーズに知識・技術を修得することが可能な開講期に変更した。来年度開講予定であり、学生に不利益はないと考える。 ・廃止科目について 「調理理論」で調理学の基礎的な理論を修得した後に、「調理学実習」で調理学の実践を修得する教育課程に変更した。本学の建学の精神の一つ「教育研究の基本：理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める。」に沿っており、従来より教育効果を高めることが可能であることから、学生に不利益はないと考える。 ■学生への周知方法 学生に配布する「学生便覧」等の冊子類に変更後の内容を掲載しているため、入学時より周知されている。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目（3）と廃止科目（4）の計	=	3	=	2.18%
設置時の計画の授業科目数の計（A）		137		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中村学園大学短期大学 部（必要面積7,800 ㎡）と共用				
	校 舎 敷 地	0 ㎡	31,934.84 ㎡	0 ㎡	31,934.84 ㎡					
	運動場用地	0 ㎡	34,284.52 ㎡	0 ㎡	34,284.52 ㎡					
	小 計	0 ㎡	66,219.36 ㎡	0 ㎡	66,219.36 ㎡					
	そ の 他	3,035.86 ㎡	5,194.63 ㎡	0 ㎡	8,230.49 ㎡					
	合 計	3,035.86 ㎡	71,413.99 ㎡	0 ㎡	74,449.85 ㎡					
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中村学園大学短期大学 部（必要面積5,900 ㎡）と共用				
		11,640.38 ㎡ (12,164.92 ㎡) -(11,880.79 ㎡)	34,038.61 ㎡ (33,908.25 ㎡) -(34,317.63 ㎡)	2,819.04 ㎡ (3,696.14 ㎡) -(3,627.05 ㎡)	48,498.03 ㎡ (49,769.31 ㎡) -(49,825.47 ㎡)	既存建物解体による校 舎面積の誤差のため (29)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	46室	34室	121室	7 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		栄養科学部 フード・マネジメント学科			8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	不要図書の除却により 図書減少、学術雑誌の 整理により減少 (29) 機械・器具：教育研究 充実のため増加 (29) 学科単位での特定不能 のため図書、学術雑 誌、視聴覚資料は大 学・短期大学部全体 の数。機械・器具、標 本は栄養科学部の数。		
	栄養科学部 フード・マネジメント学 科	216,500 [44,350] (199,192 [42,564]) -(202,500 [42,550])	344 [120] (326 [126]) -(344 [120])	62 [62] (63 [63]) -(62 [62])	7,250 (6,681) -(6,810)	3,132 3,089 (7,257) -(7,214)	16 (53)			
	計	216,500 [44,350] (199,192 [42,564]) -(202,500 [42,550])	344 [120] (326 [126]) -(344 [120])	62 [62] (63 [63]) -(62 [62])	7,250 (6,681) -(6,810)	3,132 3,089 (7,257) -(7,214)	16 (53)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	2,736.62 ㎡		374		231,194					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	5,519.68 ㎡		テニスコート×4面		軟式野球場・サッカー場×各1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費 等、図書購入費： 当初計画より減額のため (29) 設備購入費： 当初計画より増額のため (29)	
		教員1人当り研究費等	420 460千	460千円	図書購入費	0千円	500 1,600千円	1,500千円		
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	0千円	26,100 6,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,380千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	中村学園大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
≪ＡＣ対象学部等≫ 栄養科学部 フード・マネジメント 学科	年 4	人 100	年次 人 3年次 10	人 420	学士 (栄養科学)	倍 1.26	平成29年度	福岡県福岡市城南区 別府５丁目７番１号	
大 学 の 名 称	中村学園大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
大学	年	人	年次 人	人		倍			
栄養科学部 栄養科学科	4	200	3年次 20	840	学士 (栄養科学)	1.07	平成14年度	福岡県福岡市城南区 別府５丁目７番１号	
教育学部 児童幼児教育学科	4	220	3年次 10	900	学士 (教育学)	1.13	平成23年度	福岡県福岡市城南区 別府５丁目７番１号	
流通科学部 流通科学科	4	220	3年次 20	920	学士 (流通科学)	1.22	平成12年度	福岡県福岡市城南区 別府５丁目７番１号	
大学院									
栄養科学研究科 栄養科学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (栄養科学)	1.25	平成2年度		
(博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (栄養科学)	0.33	平成16年度		
流通科学研究科 流通科学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (流通科学)	0.80	平成16年度		
教育学研究科 教育学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.30	平成17年度		

大 学 の 名 称	中村学園大学短期大学部							備 考
食物栄養学科	2	150	—	300	短期大学士 (食物栄養学)	1.07	昭和32年度	※平成29年度入学定員減 (△70人)
キャリア開発学科	2	150	—	300	短期大学士 (家政経済学)	1.15	平成19年度	※平成29年度入学定員減 (△30人)
幼児保育学科	2	190	—	380	短期大学士 (保育学)	1.12	昭和44年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(ＡＣ対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科長)	太田 英明 (67)	平成29年4月	食品化学 食品資源学 食品分析学 食品学基礎実験 食品機能学 食品加工学 食品機能学実験 官能評価・鑑別演習 食品加工学実習 卒業研究	専	教授 (学科長 主任)	太田 英明 (67)	平成29年4月	食品化学 食品資源学 食品分析学 食品学基礎実験 食品化学実験 食品機能学 食品加工学 食品機能学実験 官能評価・鑑別演習 食品加工学実習 卒業研究	学科長→学科主任に役職 名決定(29)
専	教授	水元 芳 (51)	平成29年4月	国際食文化概論 基礎栄養学 ライフステージ論Ⅰ ライフステージ論Ⅱ 海外食文化研修 国際食文化論 和食文化論 卒業研究	専	教授	水元 芳 (51)	平成29年4月	国際食文化概論 食の科学 基礎栄養学 ライフステージ論Ⅰ ライフステージ論Ⅱ 海外食文化研修 国際食文化論 和食文化論 環境衛生学 卒業研究	授業内容を考慮して、科 目追加(29)
専	教授	池上 徹 (55)	平成29年4月	有機化学 食品バイオテクノロジー 学 発酵食品学 食品開発論 食の機能性評価学 卒業研究	専	教授	池上 徹 (55)	平成29年4月	有機化学 食品分析学 食品バイオテクノロジー 学 発酵食品学 食品開発論 食の機能性評価学 卒業研究	授業内容を考慮して、科 目追加(29)
専	教授	薬師寺 哲郎 (61)	平成29年4月	食料経済学 食品流通学 経営分析論 食産業学 フードマーケティング論 食品ビジネス戦略論 6次産業化論 卒業研究	専	教授	薬師寺 哲郎 (62) (64)	平成29年4月	経済学 アジアの経済 九州経済事情 食料経済学 食品流通学 経営分析論 食産業学 フードマーケティング論 食品ビジネス戦略論 6次産業化論 卒業研究	授業内容を考慮して、科 目追加(29) 年齢の誤記(29)
専	教授	松隈 美紀 (58)	平成29年4月	食の博多学 調理理論Ⅰ 調理理論Ⅱ フードスペシャリスト論 フードコーディネート論 卒業研究	専	教授	松隈 美紀 (58)	平成29年4月	食の博多学 調理理論Ⅰ 調理理論Ⅱ 学実習 フードスペシャリスト論 フードコーディネート論 卒業研究	学士課程教育充実のため、「調理理論Ⅰ」「調理理論Ⅱ」を「調理理論」「調理学実習」に科目名変更(29)
専	准教授	野中 昭彦 (46)	平成29年4月	コミュニケーション論 組織行動とリーダーシップ プレゼンテーション 対人コミュニケーション 異文化コミュニケーション 論理的作文能力 マゼ/メント・コミュニケーションⅠ マゼ/メント・コミュニケーションⅡ 卒業研究	専	講師	吉村 美路 (39)	平成29年4月	コミュニケーション論 組織行動とリーダーシップ プレゼンテーション 対人コミュニケーション 異文化コミュニケーション 論理的作文能力 マゼ/メント・コミュニケーションⅠ マゼ/メント・コミュニケーションⅡ 卒業研究	平成28年9月 野中 昭彦准教授就任辞 退のため平成29年度より 担当者の変更(29)
専	准教授	手嶋 康則 (59)	平成29年4月	色彩の科学 フードビジネス学 マーケティング論 外食産業論 フードマネジメント論 食品工場見学 国内食文化研修 食品ビジネスインタナショナル 食品企業経営戦略論 卒業研究	専	准教授	手嶋 康則 (59)	平成29年4月	色彩の科学 フードビジネス学 マーケティング論 外食産業論 フードマネジメント論 食品工場見学 国内食文化研修 食品ビジネスインタナショナル 食品企業経営戦略論 卒業研究	
専	講師	古田 宗宜 (43)	平成29年4月	食品衛生学 微生物学 環境衛生学 食品関係規約 食品衛生学実験 食品表示の実務 卒業研究	専	講師	古田 宗宜 (44)	平成29年4月	食品衛生学 微生物学 環境衛生学 食品関係規約 食品衛生学実験 食品表示の実務 卒業研究	水元 芳教授の「環境衛生学」担当に伴い、担当 科目削除(29)
兼任	教授	岩本 昌子 (64)	平成29年4月	スポーツ栄養学 機能栄養学	兼任	教授	岩本 昌子 (64)	平成29年4月	スポーツ栄養学 機能栄養学	
兼任	教授	内山 文昭 (65)	平成29年4月	演習基礎化学 健康科学英語	兼任	教授	内山 文昭 (65)	平成29年4月	演習基礎化学 健康科学英語	
兼任	教授	三成 由美 (64)	平成29年4月	アジア食文化事情※	兼任	教授	三成 由美 (65)	平成29年4月	アジア食文化事情※	

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	原 孝之 (64)	平成29年4月	生物有機化学 基礎生物学	兼任	講師	田中 嘉孝 (57)	平成29年4月	生物有機化学	担当コマ調整のため、授業担当者変更(29)
兼任	講師	竹嶋 美夏子 (51)	平成29年4月	体の科学 解剖生理学 生化学 栄養生化学実験 解剖生理学実験	兼任	特任教授	小田 隆弘 (69)	平成29年4月	体の科学 基礎生物学 生化学	
					兼任	講師	竹嶋 美夏子 (51)	平成29年4月	体の科学 解剖生理学 生化学 栄養生化学実験 解剖生理学実験	
兼任	教授	山根 一文 (66)	平成29年4月	総合基礎英語 英語リスニング 実用栄養英語A 実用栄養英語B 英語・文化海外研修【隔年】	兼任	教授	山根 一文 (66)	平成29年4月	実用栄養英語 B	山根 一文教授の担当コマ調整及び中山 奈美講師の都合により、授業担当者変更(29)
					兼任	教授	岩田 京子 (56)	平成29年4月	英語・文化海外研修【隔年】	
					兼任	准教授	津田 晶子 (51)	平成29年4月	総合基礎英語 英語リスニング 実用栄養英語A 英語・文化海外研修【隔年】	
兼任	講師	中山 奈美 (45)	平成29年4月	総合基礎英語 英語リスニング 実用栄養英語 B	兼任	講師	中山 奈美 (45)	平成29年4月	実用栄養英語 B	
					兼任	講師	都地 沙央里 (29)	平成29年4月	英語リスニング	
兼任	教授	占部 賢志 (66)	平成29年4月	中村学※ 歴史学 博多学	兼任	教授	占部 賢志 (66)	平成29年4月	中村学 歴史学 博多学	担当コマ調整により、担当者変更(29)
兼任	教授	古相 正美 (59)	平成29年4月	中村学※						
兼任	教授	相良 康弘 (63)	平成29年4月	生物学	兼任	教授	相良 康弘 (63)	平成29年4月	生物学	
兼任	教授	浅岡 由美 (57)	平成29年4月	人的資源管理 オペレーション戦略 フード・ファシリティマネジメント ストラテジック・マネジメント	兼任	教授	浅岡 由美 (56) (57)	平成29年4月	人的資源管理 オペレーション戦略 フード・ファシリティマネジメント ストラテジック・マネジメント	年齢の誤記 (29)
兼任	教授	新 茂則 (65)	平成29年4月	金融リテラシー	兼任	教授	新 茂則 (65)	平成29年4月	金融リテラシー	
兼任	教授	日野 修造 (53)	平成29年4月	アカウンティング	兼任	教授	日野 修造 (53)	平成29年4月	アカウンティング	
兼任	准教授	本間 学 (61)	平成29年4月	情報処理演習 I						本間 学准教授の担当コマ調整及び兼任講師の都合により、授業担当者変更(29)
兼任	講師	久保田 美鈴 (62)	平成29年4月	情報処理演習 I 情報処理演習 II	兼任	講師	清永 ゆう子 (61)	平成29年4月	情報処理演習 I 情報処理演習 II	
兼任	講師	大塚 史典 (49)	平成29年4月	情報処理演習 II						
兼任	准教授	圓入 智仁 (40)	平成29年4月	現代社会と教育	兼任	教授	松田 武雄 (64)	平成29年4月	現代社会と教育	担当コマ調整により、授業担当者変更(29)
兼任	准教授	安武 健一郎 (41)	平成29年4月	食の科学	専(再掲)	教授	水元 芳 (51)	平成29年4月	食の科学 他	担当コマ調整により、授業担当者変更(29)

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	野上 俊一 (42)	平成29年4月	心理学 野外活動体験	兼任	准教授	野上 俊一 (42)	平成29年4月	心理学 野外活動体験	授業内容を考慮し、授業 担当者追加(29)
					兼任	助教	田村 孝洋 (37)	平成29年4月	野外活動体験	
					兼任	准教授	山田 朋子 (48)	平成29年4月	野外活動体験	
兼任	准教授	徐 涛成 (42)	平成29年4月	アジアの経済	兼任	准教授	徐 涛成 (42)	平成29年4月	アジアの経済	
兼任	准教授	中村 芳生 (59)	平成29年4月	国際文化論	兼任	准教授	中村 芳生 (59)	平成29年4月	国際文化論	受講者分散のため、開講 期を追加し、担当者を追 加(29)
					兼任	講師	長澤 雅春 (59)	平成29年4月	国際文化論	
兼任	准教授	福沢 健 (56)	平成29年4月	日本文学 神話の世界	兼任	准教授	福沢 健 (56)	平成29年4月	日本文学 神話の世界	
兼任	准教授	前田 卓雄 (54)	平成29年4月	経営学	兼任	准教授	前田 卓雄 (54)	平成29年4月	経営学	平成29年4月 本学流通科学部教授に昇 格(29)
兼任	准教授	水島 多美也 (52)	平成29年4月	ファイナンス基礎	兼任	准教授	水島 多美也 (52)	平成29年4月	ファイナンス基礎	
兼任	講師	池田 祐子 (42)	平成29年4月	外国文学	兼任	准教授 講師	池田 祐子 (42)	平成29年4月	外国文学	職位の誤記(29)
兼任	講師	熊原 秀晃 (41)	平成29年4月	生涯スポーツ論・実習Ⅰ 生涯スポーツ論・実習Ⅱ	兼任	准教授 講師	熊原 秀晃 (41)	平成29年4月	生涯スポーツ論・実習Ⅰ 生涯スポーツ論・実習Ⅱ	担当コマ調整により、授 業担当者変更(29) 職位の誤記(29)
					兼任	講師	永山 寛 (38)	平成29年4月	生涯スポーツ論・実習Ⅱ	
兼任	講師	ジョージン バトラー プリテン (59)	平成29年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	ジョージン バトラー プリ テン (59)	平成29年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	
兼任	教授	下田 満哉 (54)	平成29年4月	食品製造工学 プリザベーション学 食品流通技術論	兼任	教授	下田 満哉 (63) (54)	平成29年4月	食品製造工学 プリザベーション学 食品流通技術論	年齢の誤記(29)
兼任	教授	酒見 康廣 (66)	平成29年4月	数学の魅力	兼任	講師	村原 英樹 (36)	平成29年4月	数学の魅力考え方	担当コマ調整により、授 業担当者変更(29) より適切な科目名にする ため、「数学の魅力」を 「数学の考え方」に変更 (29)
兼任	准教授	山崎 篤 (52)	平成29年4月	メンタルヘルス論	兼任	准教授	山崎 篤 (52)	平成29年4月	メンタルヘルス論	
兼任	講師	橋本 一雄 (39)	平成29年4月	法学 現代社会と政治 日本国憲法 野外活動体験	兼任	講師	橋本 一雄 (39)	平成29年4月	法学 現代社会と政治 日本国憲法 野外活動体験	
兼任	講師	向坂 幸雄 (42)	平成29年4月	環境論	兼任	講師	向坂 幸雄 (42)	平成29年4月	環境論	
兼任	講師	アロン ハン (41)	平成29年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	アロン ハン (41)	平成29年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	
兼任	講師	池田 浩 (39)	平成29年4月	リーダーシップ論	兼任	講師	藤村 まこと (40)	平成29年4月	リーダーシップ論	兼任講師の都合により、 授業担当者変更(29)
兼任	講師	大浦 洋子 (61)	平成29年4月	情報科学	兼任	講師	湯澤 泰生 (43)	平成29年4月	情報科学	兼任講師の都合により、 授業担当者変更(29)

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	太田 昇一 (68)	平成29年4月	数学の魅力	兼任	講師	太田 昇一 (68)	平成29年4月	数学の 魅力 考え方	より適切な科目名にする ため、「数学の魅力」を 「数学の考え方」に変更 (29)
兼任	講師	片山 礼二郎 (46)	平成29年4月	九州経済事情	兼任	講師	片山 礼二郎 (46)	平成29年4月	九州経済事情	
兼任	講師	蒲池 昌江 (52)	平成29年4月	アートワールド	兼任	講師	蒲池 昌江 (52)	平成29年4月	アートワールド	
兼任	講師	河井 伸介 (55)	平成29年4月	社会福祉とボランティア	兼任	講師	河井 伸介 (55)	平成29年4月	社会福祉とボランティア	
兼任	講師	金 英姫 (48)	平成29年4月	韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	金 英姫 (48)	平成29年4月	韓国語 I 韓国語 II	
兼任	講師	後藤 道子 (66)	平成29年4月	知的財産論	兼任	講師	後藤 道子 (66)	平成29年4月	知的財産論	
兼任	講師	小林 猛夫 (53)	平成29年4月	アジア食文化事情※	兼任	講師	小林 猛夫 (53)	平成29年4月	アジア食文化事情※	授業内容を考慮して、担 当者追加 (29)
					兼任	講師	柴田 俊一 (61)	平成29年4月	アジア食文化事情※	
					兼任	講師	竹野 良一 (63)	平成29年4月	アジア食文化事情※	
兼任	講師	小林 美緒 (39)	平成29年4月	心理学	兼任	講師	小林 美緒 (39)	平成29年4月	心理学	
兼任	講師	柳原 浩晃 (54)	平成29年4月	スポーツ文化	兼任	講師	長島 和幸 (35)	平成29年4月	スポーツ文化	兼任講師の都合により、 授業担当者変更 (29)
兼任	講師	坂田 年男 (66)	平成29年4月	統計学入門	兼任	講師	坂田 年男 (66)	平成29年4月	統計学入門	
兼任	講師	佐藤 真人 (59)	平成29年4月	宗教学	兼任	講師	佐藤 真人 (59)	平成29年4月	宗教学	
兼任	講師	サムエル フロレス イシトロ (38)	平成29年4月	フランス語 I フランス語 II	兼任	講師	マルセル ジン・マリア (50)	平成29年4月	フランス語 I フランス語 II	兼任講師の都合により、 授業担当者変更 (29)
兼任	講師	猿渡 剛 (35)	平成29年4月	経済学	兼任	准教授	中川 隆 (42)	平成29年4月	経済学	担当コマ調整により、授 業担当者変更 (29)
兼任	講師	園田 浩之 (45)	平成29年4月	社会福祉とボランティア 社会学	兼任	講師	園田 浩之 (45)	平成29年4月	社会福祉とボランティア 社会学	担当コマ調整により、授 業担当者変更 (29)
					兼任	講師	益田 仁 (34)	平成29年4月	社会学	
兼任	講師	田代 俊一郎 (66)	平成29年4月	マスコミ論	兼任	講師	田代 俊一郎 (66)	平成29年4月	マスコミ論	
兼任	講師	田中 友佳子 (32)	平成29年4月	ジェンダー論	兼任	講師	田中 友佳子 (32)	平成29年4月	ジェンダー論	
兼任	講師	千葉 由紀子 (69)	平成29年4月	アジア食文化事情※ 中国語 I 中国語 II	兼任	講師	千葉 由紀子 (69)	平成29年4月	アジア食文化事情※ 中国語 I 中国語 II	
兼任	講師	デヴィス フロレス イシトロ (48)	平成29年4月	スペイン語 I スペイン語 II	兼任	講師	デヴィス フロレス イシトロ (48)	平成29年4月	スペイン語 I スペイン語 II	

<栄養科学部 フード・マネジメント学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	徳井 教孝 (61)	平成29年4月	フード食文化事情※	兼任	教授	徳井 教孝 (61)	平成29年4月	フード食文化事情※	平成29年4月 本学薬膳科学研究所教授 に就任(29)
兼任	講師	原田 大志 (55)	平成29年4月	音楽の世界	兼任	講師	原田 大志 (55)	平成29年4月	音楽の世界	
兼任	講師	樋渡 河 (42)	平成29年4月	哲学 倫理学	兼任	講師	樋渡 河 (42)	平成29年4月	哲学 倫理学	
兼任	講師	藪 敏晴 (56)	平成29年4月	文学	兼任	講師	藪 敏晴 (56)	平成29年4月	日本文学	「日本文学」担当が正当 (29)
兼任	講師	山岡 均 (51)	平成29年4月	地学	兼任	講師	町田 真美 (42)	平成29年4月	地学	兼任講師の都合により、 授業担当者変更(29)
兼任	講師	山中 美智男 (63)	平成29年4月	化学	兼任	講師	今井 洋輔 (32)	平成29年4月	化学	兼任講師の都合により、 授業担当者変更(29)
兼任	講師	ラバ ベンジン (37)	平成29年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	ラバ ベンジン (37)	平成29年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
5	2	1	0	8	5	1	2	0	8	5	1	2	0	8
(5)	(1)	(2)	(0)	(8)						[0]	[△1]	[1]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
【平成18年4月1日以降雇用者】 教授：65 准教授：62 講師：62 助教：60	0	0
【平成18年4月1日以前雇用者】 教授：68 准教授：62 講師：62 助教：60	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	准教授	野中 昭彦	選択	コミュニケーション論	①	本学流通科学部准教授として雇用されており、平成29年4月よりフード・マネジメント学科教員として就任予定だったが、平成28年9月に一身上の都合による退職願が提出され、就任辞退となった(29)							
			選択	組織行動とリーダーシップ	①								
			選択	プレゼンテーション	①								
			選択	対人コミュニケーション	①								
			選択	異文化コミュニケーション	①								
			選択	論理的作文能力	①								
			選択	マネジメント・コミュニケーションⅠ	①								
			選択	マネジメント・コミュニケーションⅡ	①								
			必修	卒業研究	①								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由					
合計（C）						後任補充状況の集計（D）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員1名の退職はやむを得ないものと判断し、同分野の教員を採用した。学科開設前の変更であり、学生へは入学当初より新規採用教員で授業を実施したため、履修等に影響はなかった。（29）

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<栄養科学部 フード・マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織としてFD委員会およびFD推進委員会を設置している。それぞれの役割は次のとおりであり関係規程を添付する。

- ・ FD委員会：FD推進の中核組織として、FDの基本方針及び基本計画を策定するとともにその点検・評価を行う。
- ・ FD推進委員会：FDの推進計画を策定し、全学的FD推進の企画・実施を担う。

また、本学科では、教員の資質向上のため活動を企画し推進するため、独自のFD年次計画を策定している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD委員会：平成28年度4回開催。構成員は教員13名・事務職員3名で、平均出席率は92%であった。
- ・ FD推進委員会：平成28年度4回開催。構成員は教員15名・事務職員1名で、平均出席率は72%であった。

c 委員会の審議事項等

FD委員会ならびにFD推進委員会の審議事項等は、次のとおりである。

（平成28年度）

- ・ 本学における教育システム改革（FD2014）の進捗把握及び具体化計画
- ・ 各学部、学科、研究科のFD実施計画・FD実施報告について
- ・ 3ポリシーの見直しについて
- ・ 平成28年度 公開授業（授業参観）の実施について
- ・ アクティブラーニングに関するアンケートについて
- ・ 教育ワークショップについて
- ・ 平成28年度 授業についてのアンケートについて
- ・ 自己点検・評価検証委員会規程（案）について

（平成29年度予定）

- ・ 公開授業（授業参観）の推進
- ・ 教育ワークショップについて
- ・ 授業についてのアンケート実施
- ・ 各学部、学科、研究科のFD推進
- ・ ナンバリングのルール設定
- ・ 外部評価を導入した自己点検評価体制の整備
- ・ 高大接続・連携教育の推進

<フード・マネジメント学科FD実施計画>

（平成29年度）

教育目標の達成に向けて、FDを通じた教育研究システムを構築する。

- ・ 入学前教育
自学自習（英語・国語・数学・化学・生物）の徹底、並びに奨励課題（語学学習、読書推奨）の実施。
- ・ 初年次導入教育
プレゼンメントテストの実施、習熟度別実践的英語教育の実施。
- ・ 補完授業
文系コース出身者に対する補完学習の実施及び地元食産業による実践演習の導入。
- ・ プロジェクト研究の立案
企業と連携した研究課題の立案。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業についてのアンケート
- ・ 公開授業（授業参観）
- ・ 教育ワークショップ

b 実施方法

・授業についてのアンケート

学生は、パソコンや携帯端末から学生ポータルを經由して授業アンケートシステムにアクセスし、履修科目ごとにアンケートを回答する。教員はシステムから即時にアンケート回答状況を確認することができる。また、アンケート結果に対するコメントを入力することができる。

授業についてのアンケートを学生自らが主体的に学ぶツールと位置づけ、各授業における学生の自己評価を以て授業の質を向上させる基礎資料とし、授業改善に取り組んでいる。

・公開授業（授業参観）

授業の公開を通じ、教員相互による標準的且つ客観的な分析を行い、授業水準の確保並びに授業内容や教育方法の改善を図っている。また、教育課程における科目間関係の理解を深め、教育目標やディプロマポリシーを踏まえた授業改善を目的としている。

通年をととして全教職員を対象に全ての授業を公開している。更に半期ごとに公開集中期間を設け、併設中高の教職員も参観可能としている。参観者はレポートを提出し、被参観者は参観者のレポートをもとに考察を作成する。

・教育ワークショップ

授業改革の推進を目的として、併設短期大学部合同の教育ワークショップを年1回開催している。外部講師招聘による基調講演や各学部・学科の取組事例の発表、全体討論等を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（平成28年度）

・授業についてのアンケート

前学期は7月、後学期は1月に実施した。

・公開授業（授業参観）

通年期間をととして参観可能とし、更に前学期は6月、後学期は11月に集中期間を設け、ゼミを除く全科目を対象に実施した。のべ参観人数は、前学期264名、後学期251名であった。

・教育ワークショップ

主題「アクティブ・ラーニングとは何か」のもと9月に開催した。134名（76%）の教員が参加した。外部講師による基調講演を行ったほか各学部・学科から実践報告を行った。発表テーマは次のとおり。

基調講演：「講義脱却の授業改革の推進～アクティブ・ラーニングとは何か～」

栄養科学部：「栄養科学部教職課程における取り組み～アクティブ・ラーニングをととして『How to Teach』から『How to Learn』への転換～」

教育学部：「保育・教職実践演習（幼稚園）一経験知から『語る』保育をめざして～」

流通科学部：「地方自治体・企業等との連携によるアクティブ・ラーニング」

短期大学部食物栄養学科：「食物栄養学科におけるアクティブ・ラーニングの一事例について」

短期大学部キャリア開発学科：「キャリア開発学科におけるアクティブ・ラーニングの促進～実践、研究、カリキュラムの視点から～」

短期大学部幼児保育学科：「キャンパスを出て保育力を高めようー森の幼稚園in篠栗ーフィールド実践型活動の取り組みと課題」

（平成29年度）

・授業についてのアンケート

前学期7月及び後学期1月に実施予定。

・公開授業（授業参観）

通年期間並びに集中期間を設け実施予定。

・教育ワークショップ

9月実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業についてのアンケート

授業担当者は、Web授業アンケートシステムから科目別に回答結果を把握し、アンケート結果に対し科目別にコメントを入力することができる。また、FD推進委員会及びFD委員会にて学科別及び設問別に集計結果が報告され、各教員は授業改善の参考としている。

・公開授業（授業参観）

参観した教職員は、レポートに感想（良かった点、改善提案等）を記し、被参観者はこのレポートをもとに考察を作成する。相互に授業を振り返ることにより確実に授業改善へと繋げている。

・教育ワークショップ

FD実施方針やFD年次計画に基づく課題や取組みをもとにテーマを設定している。各学部・学科を超えた全学教員による直接討論の場であり、新しいアイデアの創出と教員の意欲向上に貢献している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

Web授業アンケートシステムにより、半期ごとに主に最終回の授業（前学期は7月、後学期は1月）に実施している。アンケートは、「教員の授業を学生が評価する」のではなく「授業での自分の学修を学生が自己評価する」項目を設定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの入力、集計、結果表示は全てシステム上で行うため、即時にWeb上で公開・確認することができる。また、授業担当者以外の教員や学生も集計結果（自由記述を除く）を参照することが可能である。さらに、アンケート結果の統計情報は、ホームページにて公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

フード・マネジメント学科は、栄養科学の知識・技術・態度を基に、機能性食品や高齢食といった健康増進のための食品の研究・開発・製造のための知見に加え、6次産業化や海外展開など食科学をビジネスへつなげる知見を併せ持つことで、高付加価値な食産業を創出できる人材を養成することを目的としている。本学が立地する九州において、九州経済を牽引する食品加工・製造等の食産業にて活躍できる人材の育成・輩出という社会的要請に応えようとするものである。

初年度である平成29年度の入学志願者数は、定員100名に対し志願者数418名が集まり、順調な滑り出しであった。また、1年次生を受け入れて1ヶ月程が経過したばかりではあるが、現時点で学生の履修、授業の運営に大きな問題はなく、当初の計画通りカリキュラムを開設している。さらに、本学科設立検討段階より、本学が組成する「食産業サービス経営人材育成コンソーシアム」に加盟する企業との連携体制の下、「カリキュラム評価・検証部会」を設置し、カリキュラムや教材の改善を行い、設置の趣旨・目的のより一層の高度な達成を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

従前から、中期総合計画とこれに基づく年次事業計画を認証評価項目と統一化することにより、一括した自己点検評価、報告を行う仕組みの整備した。平成29年度からは、外部評価を導入し更に体制の充実を図るとともに機関別認証評価第3期に沿った評価指標の検討を進める。

a 公表（予定）時期

・平成29年6月30日 公表

b 公表方法

毎年6月に、年次事業計画に対する活動実績を事業報告として本学ホームページで公表している。また、機関別認証評価についても自己点検・評価報告書をまとめ、ホームページで公表している。
(平成26年度大学基準協会受審)

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に2度目の機関別認証評価を受審した。受審結果に対する改善の検証を行い、平成30年に改善報告書を大学基準協会へ提出する。平成29年度は本学の第7次中期総合計画（平成30年度～32年度）ならびに年次計画を策定しPDCAサイクルを循環させながら確実に計画を遂行する体制整備に取り組む。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 9月 1日)

○中村学園大学(含む短期大学部)FD委員会規程

平成20年4月1日

制定

(設置)

第1条 中村学園大学及び中村学園大学短期大学部のFDを実施するため、中村学園大学(含む短期大学部)FD委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、中村学園大学及び中村学園大学短期大学部の教育研究水準の向上を図り、教育目標を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自己点検・評価に基づくFDを円滑に実施することを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各研究科長
- (3) 各学部長
- (4) 各学科主任
- (5) 合同教務委員長
- (6) FD推進センター長
- (7) 事務局長
- (8) 学修支援課長
- (9) 教育研究支援課長

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもってこれに充てる。

2 委員長を補佐するため副委員長を置くことができる。副委員長は、委員長が委員の中から指名する。

(所掌事項)

第5条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) FDの基本方針及び基本計画に関すること。
- (2) その他自己点検・評価に基づくFDに関すること。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員長に事故のあるときは、副委員長がその職務を代行する。

3 委員長が必要と認めるときは、随時委員会を招集することができる。

(関係職員の意見の聴取)

第7条 委員会は、関係職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(運営)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議により定める。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、教育研究支援課が処理する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

(廃止)

2 この規程の施行に伴い、「中村学園大学(含む短期大学部)FD推進委員会細則」、「中村学園大学自己点検・評価委員会規程」及び「中村学園大学短期大学部自己点検・評価委員会規程」は廃止する。

附 則

この規程は、平成27年7月1日から施行する。

○中村学園大学(含む短期大学部)FD推進センター規程

平成20年4月1日

制定

(趣旨)

第1条 この規程は、中村学園大学(含む短期大学部)FD推進センターの組織等に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 FD推進センターは、本学におけるファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)に関する実践的研究を行い、FDに関する施策・提言を行う。

2 FD推進センターは、本学の教育活動の改善について、助言及び協力を行う。

3 FD推進センターは、各学部等が行う各号の活動について、助言及び支援を行う。

一 教育方法

二 教育力向上

三 授業参観、公開授業

四 学習成果・厳格な成績評価基準(到達目標、試験問題、評価)

五 カリキュラム作成に関するワークショップ

六 学生による授業評価のフィードバック

七 補完教育のためのeラーニングの充実

4 前3項に定めるもののほか、FD推進センターは、各学部長、各教育センターが行う教育の企画、開発及び実施の支援を行う。

(センター長)

第3条 FD推進センターに、センター長を置く。

2 センター長は、本学の教授をもって充てる。

3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 センター長は、FD推進センターの業務を掌理する。

(学外顧問)

第4条 センター長は、FDの必要に応じて、学外の有識者をFD推進センターの顧問として委嘱することができる。

2 前項に定める顧問を学外顧問と称し、任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 学外顧問は、センター長の求めによりFDについて助言を行う。

(委員会)

第5条 FD推進センターに、FD推進及びFD推進センターの運営に関する事項について審議するため、FD推進委員会(以下「委員会」という)を置く。

2 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務組織)

第6条 FD推進センターの事務は、教育研究支援課において処理する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年7月1日から施行する。

○中村学園大学(含む短期大学部)FD推進委員会細則

平成20年4月1日

制定

(設置)

第1条 中村学園大学(含む短期大学部)FD推進センター規程第5条に基づき、中村学園大学及び中村学園大学短期大学部のFDを実施する委員会として、中村学園大学(含む短期大学部)FD推進委員会(以下「委員会」という)を置く。

(構成)

第2条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) FD推進センター長
- (2) 教養教育センター長
- (3) 一般教育セクション長
- (4) 体育セクション長
- (5) 外国語教育セクション長
- (6) 情報教育センター長
- (7) 教職教育センター長
- (8) 各研究科・学部・学科から委員各1名
- (9) 合同教務委員長
- (10) 教育研究支援課長
- (11) その他委員会が必要と認めた者

(任期)

第3条 前条第8号に該当する委員の任期は、2年とする。

ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることがある。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、FD推進センター長をもってこれに充てる。

2 委員長を補佐するため副委員長を置くことができる。副委員長は、委員長が委員の中から指名する。

(所掌事項)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 中村学園大学(含む短期大学部)FD委員会の定めるFDの基本方針及び基本計画に基づ

くFDの実施に関すること。

- (2) FDに係る研究会及び研修会等に関すること。
- (3) FDに係る調査・研究に関すること。
- (4) 教育技法の改善の支援に関すること。
- (5) 公開研究授業等に関すること。
- (6) その他FDに関すること。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員長に事故のあるときは、副委員長がその職務を代行する。

3 委員長が必要と認めるときは、随時委員会を招集することができる。

(関係職員の意見の聴取)

第7条 委員会は、関係職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(運営)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議により定める。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育研究支援課において処理する。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成27年7月1日から施行する。